

早期景気観測調査

【8-9月期 調査結果概要報告書】

平成26年10月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成26年9月16日(火)～30日(火)
4. 調査対象： 当所会員157事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 126件
7. 有効回答率： 80.3%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【8－9月期の動き】

**業況DIは4期ぶりの改善。従業員を除く全てのDIが改善し、景況感に明るさがみられる。
先行きについては、業況DI他、全ての項目で改善する見通し。**

8－9月期の全業種総合の業況DIは▲24.6と、前期から6.5ポイント改善し、4期ぶりの業況改善となった。今期は、業況・売上・採算・仕入単価・金融貸出しDIの、従業員DIを除く全てのDIが改善した。前期（6－7月期）における業況DIは、売上、採算、従業員DIの改善に反して3期連続での悪化となっていたが、今期については、各項目の改善が業況DIにも反映される結果となり、景況感に明るさがみられる。売上、採算DIは、ともに2期連続で改善しており、消費税増税の影響も峠を越え、回復基調にある。また、仕入単価DIは小幅ながら3期ぶりの改善となったが、一方で仕入値の高止まりを懸念する声も多く、依然低水準で推移している。

業種別では、製造業・卸売業・小売業で業況が改善し、建設業・サービス業では悪化した。

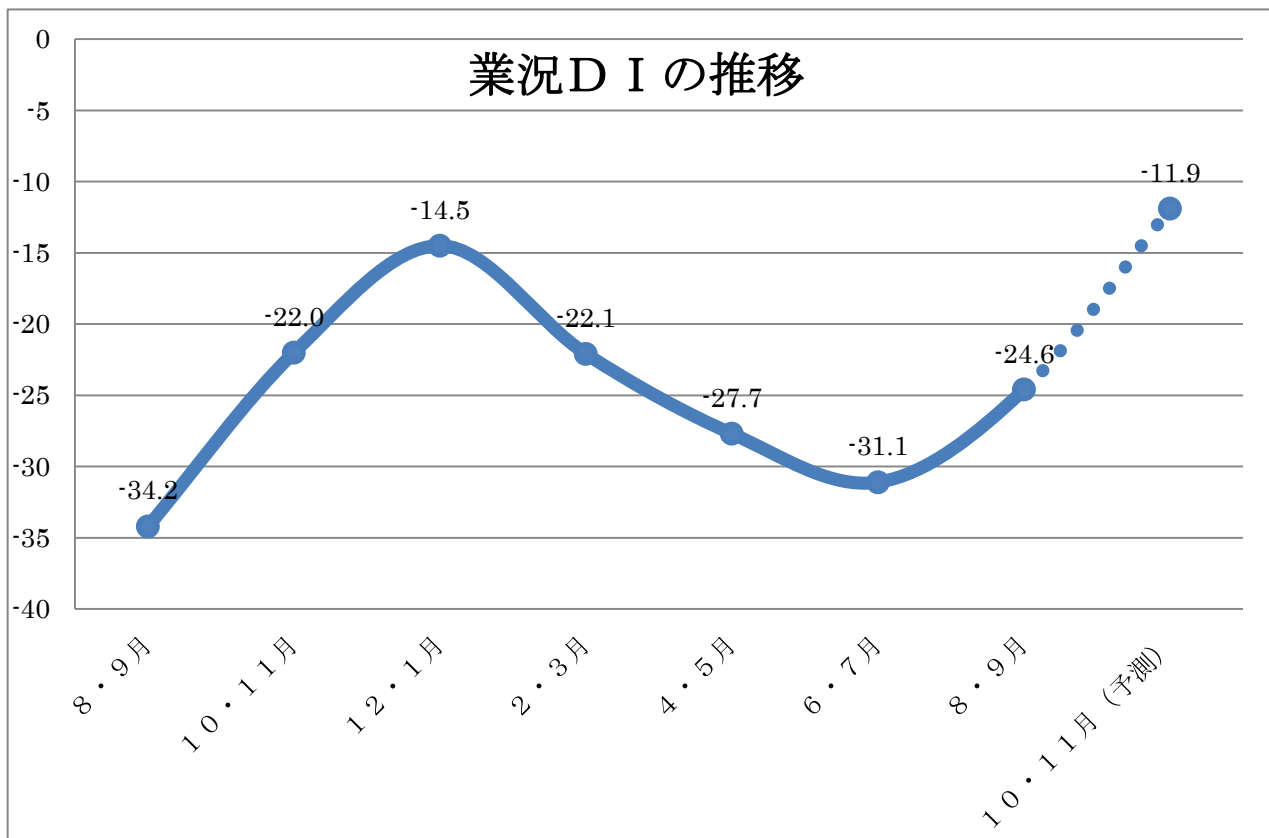
製造業では、業況・売上・採算・仕入単価・従業員・金融貸出しの全てのDIが改善している。採算DIについては、1年以上続いていたマイナス局面から脱した。

建設業は、売上（0.0→▲33.3）・採算（▲11.1→▲38.1）DIがともに大幅な悪化となり、業況DIについても2期連続で悪化している。

一方で卸売業では、売上（▲21.1→4.5）・採算（▲47.7→▲18.2）ともに大幅に改善しており、業況DIについても4期ぶりの改善となった。

小売業については、業況・売上・採算・仕入単価DIが改善している。消費増税後の買い控えの影響も落ち着きを見せ始め、先行きの業況は大幅な改善を予測している（▲40.6→▲12.5）。

サービス業では、売上が横ばいとなり、高止まりした仕入単価に採算が圧迫されている。

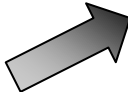




◆全業種・業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について

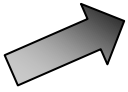
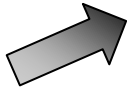
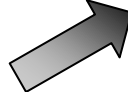
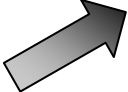
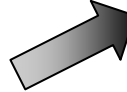

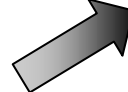
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」 (改善) と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」 (改善) と表示しております。








◆全業種総合

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 2 4 . 6	▲ 1 1 . 9	▲ 1 3 . 5	▲ 2 3 . 0	▲ 5 7 . 1	7 . 9	▲ 2 . 4

8－9月期の全業種総合の業況D I は、**▲24. 6** (前期比+6. 5ポイント) となり、4期ぶりの改善となった。売上D I ・採算D I はともに2期連続での改善となっている。従業員D I は悪化に転じたものの、一方で仕入単価D I ・金融貸出しD I は、小幅ながら改善に転じる結果となった。業況の先行きに関しては、▲11. 9ポイントと改善を予測している。また、他の全項目においても改善の見通しである。

◆ 業種別

製造業

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 3. 3	3. 3	6. 7	0. 0	▲ 4 3. 3	6. 7	0. 0

業況D Iは2期連続での改善となっている。また、今期は他の全項目においても、改善という結果となった。売上D I・採算D I・従業員D Iは2期連続での改善、仕入単価D Iは4期ぶりでの改善となった。また、金融貸出しD Iについても改善に転じている。

業況D Iに関する今後の見通しについては、改善を予測している。

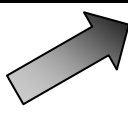
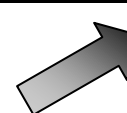
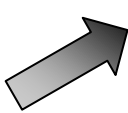
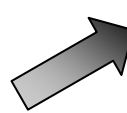
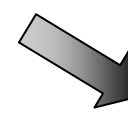
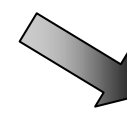
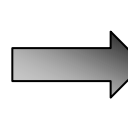
建設業

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 2 8. 6	▲ 2 8. 6	▲ 3 3. 3	▲ 3 8. 1	▲ 7 6. 2	1 9. 0	▲ 4. 8

業況D Iは、2期連続の悪化となった。売上D Iは3期連続の悪化、採算D I・従業員D I・金融貸出しD Iについても悪化に転じた。とりわけ、売上D Iは33. 3ポイント、採算D Iは27. 0ポイントの大幅なマイナスとなっている。一方で、仕入単価D Iは改善に転じたが、依然低水準が続いている。

業況D Iに関する今後の見通しについては、横ばいを予測している。

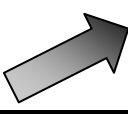
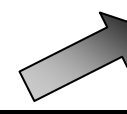
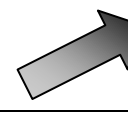
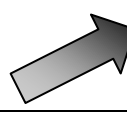
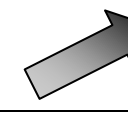
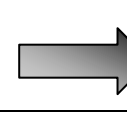
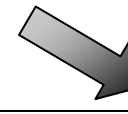
◆ 卸売業

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 36. 4	▲ 27. 3	4. 5	▲ 18. 2	▲ 72. 7	9. 1	0. 0

業況D Iは4期ぶりの改善となった。売上D Iは5期ぶり、採算D Iは2期連続の改善となり、それぞれ25. 6ポイント、29. 5ポイントの大幅なプラスとなっている。その一方で、仕入単価D Iは悪化に転じ、従業員D Iは3期連続の悪化となった。金融貸出しD Iは横ばいとなっている。

業況D Iに関する今後の見通しについては、改善を予測している。

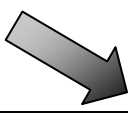
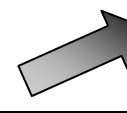
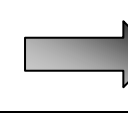
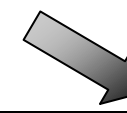
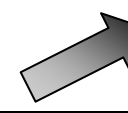
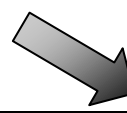
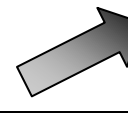
◆ 小売業

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 40. 6	▲ 12. 5	▲ 40. 6	▲ 43. 8	▲ 37. 5	0. 0	▲ 3. 1

業況D Iは3期ぶりに改善に転じた。売上D I・採算D I・仕入単価D Iもそれぞれ改善に転じ、売上D Iは3期ぶり、採算D Iは4期ぶりの改善となっている。一方で従業員D Iは横ばい、金融貸出しD Iは小幅な悪化となった。

業況D Iに関する今後の見通しについては、大幅な改善を見込んでおり、売上D I・採算D Iについても、ともに大幅な改善を予測している。

サービス業

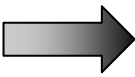






業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 14. 3	0. 0	0. 0	▲ 14. 3	▲ 71. 4	9. 5	▲ 4. 8

業況D Iは3期ぶりに悪化に転じた。売上D Iは横ばいであったが、前期マイナス局面を脱した採算D Iは3期ぶりに悪化に転じ、再びマイナス値に振れた。また、従業員D Iについては悪化、仕入単価D I・金融貸出しD Iは小幅な改善となっている。






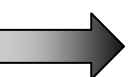

業況D Iに関する今後の見通しについては、改善を予測している。

◆ 業種別詳細



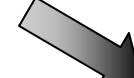




◆ 製造業（食品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








◆ 製造業（家具）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						






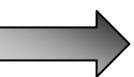

◆ 製造業（工業製品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

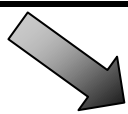
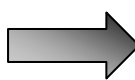
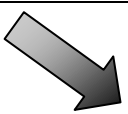
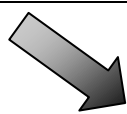
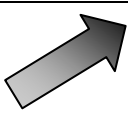
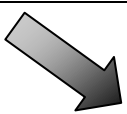
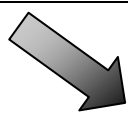
◆ 製造業（宝飾）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

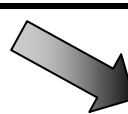

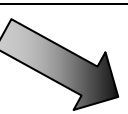
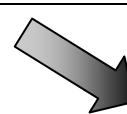
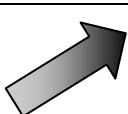
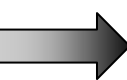

◆ 製造業（繊維）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

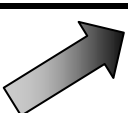

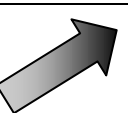

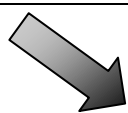
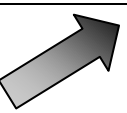
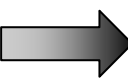
◆ 建設業（建築）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

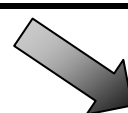

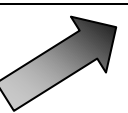
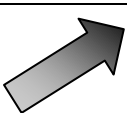
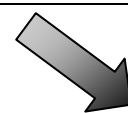
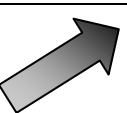
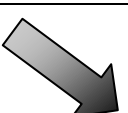
◆ 建設業（土木）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

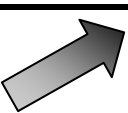

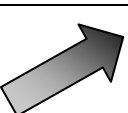
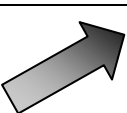
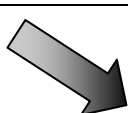
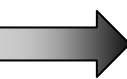
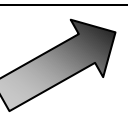
◆ 建設業（鉄鋼）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

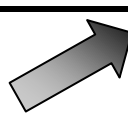

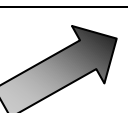
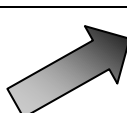
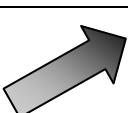
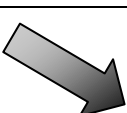

◆ 卸売業（食品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

◆ 卸売業（繊維）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

◆ 卸売業（その他）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

◆ 小売業（大型店）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

◆ 小売業（食料品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

◆ 小売業（事務用品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

◆ 小売業（趣味・日用品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

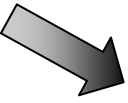
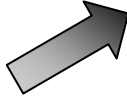
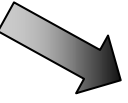
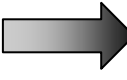

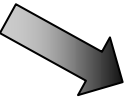
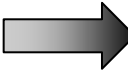
◆ 小売業（家電）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

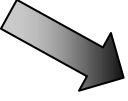
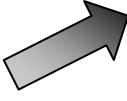
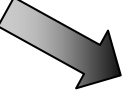
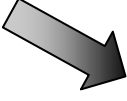
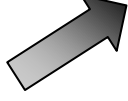
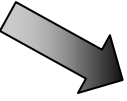
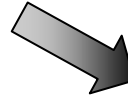
◆ サービス（ホテル・旅館）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

◆ サービス業（観光）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

◆ サービス業（飲食その他）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面してる課題）

➤ 製造業（食品）

- 為替、円安で仕入は苦戦続きも、来年4月頃に対オーストラリアとのEPA協定に期待している。新商品開発→拡販開始で、土産品は順調。ホテル向け食材も好調で、利益確保できている。
- 昨年の同期と比べて、8月は売上減、9月は売上増とトータルでは変わらずに推移しています。厳しい状況は続きますが、酒質向上により、特定名称酒は順調に売り上げを伸ばしています。これから仕込等繁忙期になりますが、今年も杜氏を迎え、さらに酒質向上を目指しています。
- 輸入原料は、今後円安傾向により高騰する。

➤ 製造業（家具）

- 1ドル97～8円で推移していた為替が、110円に近付いています。これだけ円安になると輸入諸資材、原料、石油等エネルギーコストが跳ね上がり、利益は出ません。政府と経団連の結びつきを弱め、中小企業、地方へ目を向けた政策に転換してほしい。

➤ 製造業（工業製品）

- 部材等の資材の値が安定しません。更に値上げの関係の情報が、今年終わりから来年の初頭に予定されております。消費税8→10%に向けた動きが気になります。
- 国内の売上は、前年と同レベルで推移している。輸出は北米を中心に前年に対し10%増で推移している。
- 水晶振動子、発振器の需要供給先である携帯、スマホ業界は、いまだ発展途上にあるが、売れ筋商品群は高級機種から中低価格モデルに変わりつつある。世界の2台スマホメーカーを追って中国地場メーカーが急激にシェア拡大しており、厳しい値下げ圧力のもとで国内の水晶デバイス製造各社は収益環境が悪化している。

- 卸売業（食品）
 - 原料仕入れ単価値上がり、販売値にすぐに転嫁できず、収益がすぐには上がらない現状です。販売の方も客も慎重になり、販売量が増えない。すべての流れがそのようになっています。
 - 水産物卸売の会社であるが、円安の影響及び、ロシアへの制裁（特に EU）のあおりを受け、輸入魚を中心に魚価高になり収益の悪化。
 - 仕入値上げを転嫁できず。
 - 卵価上昇（仕入単価の上昇）が、業績に悪影響を及ぼしています。
 - 売上自体は増加しているが、採算率の悪い大手に集中しているため、全体としての採算は悪化している。
- 卸売業（その他）
 - 9月末に向けて、売上も伸びる見込みです。
- 建設業（建築）
 - 仕入値の高騰に加え、施工費（外注）の上昇、お客さんからの低額提示。通常のやり方だと会社継続ができない。特にお客様からは、理不尽な受注段階の申し入れが多々あり。
 - 工事部門、家電ともに低調です。
- 建設業（土木）
 - 公共工事の採算が悪くなってきた（土木・建設ともに）。民間工事はそれ以上に悪い。公共工事発注量も実着工数となると少ない。
 - 建築関係は公共、民間工事ともに減少しています。特に県内は厳しい状況が続くでしょう。今年の2月15日の大雪で、雪害工事として屋根、樋、庇、カーポート等の修理が発生しましたので、年内は少し工事があります。
- 建設業（鉄鋼）
 - 県発注工事が下期にずれ込んでいる。
- 小売業（大型店）
 - 8月の高校総体、9月からの JR 東日本グループによる山梨誘客キャンペーンにより、8月9月は前年をクリアした。しかし、御岳山噴火の影響が、風向きによっては山梨県にも影響する恐れがあるので、今後は予断を許さないとと思われる。
- 小売業（趣味・日用品）
 - 人通りの少ないことが当たり前になってしまい、盛り上がり欠けることは必然とはいえ、自店の客を一人でも多く来てもらう努力は欠かせない。
 - 3月の増税後より、消費低迷が続いています。9月から改善がみられますが、まだまだです。とても10%の消費税など考えられません。

➤ サービス業（ホテル）

- インターハイがあり、応援のご父兄で8月は忙しく、夏のシーズンでお客様も増えましたが、仕入単価が高く必要経費も高くなり、採算はなかなか良いとは言えない。9月は観光などで来る方々は、土日に集中して、思うようではありませんでした。

➤ サービス業（観光）

- 仕入単価が上昇し、利幅は減少している。観光客が訪れる場所が偏移しているだけで全体的な数は、例年並みか減少しているのでは？どこかが増えればどこかが減る。全体的（トータルの）にはマイナス傾向にある。
- 8月は週末の天候に恵まれ、前年より観光客が少し増えましたが、売上は伸びませんでした。
- 8月は、芦安-広河原間が土砂崩落による通行止め（8/30まで）となり、南アルプス登山バスの売上に影響を受けました。9月以降は回復しています。
- 山頂駅のリフォームにより、一人あたりの滞在時間が増加した。売上単価を伸ばすために、さらに仕掛けを工夫していく。

➤ サービス業（飲食その他）

- うなぎ料理がメインの店なので、とにかくうなぎの仕入れ価格が高値で推移しているのが大変。
- 絶滅の危機にあるウナギ。11月から養殖に使うシラスウナギを前年より2割減らすことになりました。供給量が少なくなれば、値上がりは必至。しかし、手を打たざるを得ません。早急に卵から成魚まで養殖できる技術を国を挙げて見つけなければ、ウナギの食文化はなくなってしまいます。